

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号
特表2002-521091
(P2002-521091A)

(43) 公表日 平成14年7月16日 (2002.7.16)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
A 6 1 F 13/49		B 6 5 H 23/18	A 3 B 0 2 9
13/15		D 0 6 C 27/00	Z 3 B 1 5 4
13/472		A 6 1 F 5/44	H 3 F 1 0 5
B 6 5 H 23/18		A 4 1 B 13/02	S 4 C 0 0 3
D 0 6 C 27/00		A 6 1 F 13/18	3 6 0 4 C 0 9 8
審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 20 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-560849 (P2000-560849)
(86) (22) 出願日 平成11年7月16日 (1999.7.16)
(85) 翻訳文提出日 平成13年1月22日 (2001.1.22)
(86) 国際出願番号 P C T / U S 9 9 / 1 6 1 3 8
(87) 国際公開番号 W O 0 0 / 0 4 8 5 5
(87) 国際公開日 平成12年2月3日 (2000.2.3)
(31) 優先権主張番号 9 8 1 1 3 6 6 7 . 4
(32) 優先日 平成10年7月22日 (1998.7.22)
(33) 優先権主張国 欧州特許庁 (E P)

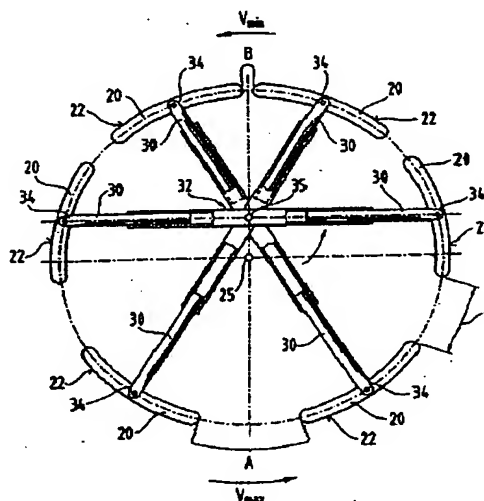
(71) 出願人 ザ、プロクター、エンド、ギャンブル、カンパニー
THE PROCTER AND GAMBLE COMPANY
アメリカ合衆国オハイオ州、シンシナチ、ワン、プロクター、エンド、ギャンブル、プラザ (番地なし)
(72) 発明者 クンツェ、ローター
ドイツ連邦共和国、デー 53359 ラインバッハ、ベルリナー・シュトラッセ 4
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦 (外5名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 連続ウェブを輸送及び処理するための装置

(57) 【要約】

本発明の目的はウェブループを形成するための複数の手段を具備している装置 (10) により達成され、ウェブループ (101) を形成するための各手段は隣接したウェブ支持板 (20) 間に位置される。ここでウェブ支持板表面の各々は円弧状に位置していて、これらの円弧は円形経路の円周の周りに位置している。そしてここでウェブ支持表面とウェブループ (101) を形成するための手段とは円形経路の軸周りに回転自在に支持されている。本発明の好ましい実施の形態において、ウェブループ (101) を形成するための手段は円周速度で円形経路の周りでウェブ支持板 (20) を回転自在に駆動することにより提供される。ここで円周速度は、隣接したウェブ支持板 (20) 間の距離が最小距離から最大距離の間で変化するように、最小円周速度から最大円周速度の間で変えられる。好ましくはウェブ支持板 (20) の円周速度はサイン関数に従って変化する。ここでこのサイン関数の1周期は円形経路の周りのウェブ支持板 (20) の完全な1回転に対応する。また、本発明はこの装置周りに連続ウェブを輸送するためのプロセスに関する



BEST AVAILABLE COPY